

## 令和6年度シラバス(国語)

教科(科目)	国語(言語文化)	単位数	2単位	年次	1年次
使用教科書	第一学習社『標準 言語文化』				
副教材等					

## I グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	<p>～卒業までにこのような資質・能力を育みます～</p> <p>①本校の特色及び取組を生かした高大接続、教育課程の編成、授業改善により基礎学力の向上を図るとともに、さらなるキャリア教育の実践を推進します。</p> <p>②規律ある学校生活の中で基本的な生活習慣を確立し、時代の変化に対応できる能力の向上を図ります。</p> <p>③生徒一人一人の良さや可能性を伸ばし、自立した社会生活を営むことができる力を育てるとともに、生徒の自己実現を図ります。</p>
カリキュラム・ポリシー	<p>～上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行います～</p> <p>総合学科の本校では多様な科目開設という特徴を生かした教育活動を展開し、「産業社会と人間」を基本として3年間を見通したキャリア教育を充実させます。また、地域と連携した実習や就労体験等、地域の教育資源を活用して教養、人間性及び社会性を育てます。</p> <p>①多様な進路希望に対応する選択科目を設け、資質、能力の育成に相乗的であるように教科等横断的な視点に立った指導であること。</p> <p>②学習の継続性に配慮し、主体的・対話的で深い学びが実践できるような基礎基本を重視した教育課程を編成する。</p> <p>③ICTの活用も含め、生徒個々が自身の進路希望を意識した学習態度の早期醸成と高揚につなげられるものであること。</p> <p>④学校設定科目「キャリア実習」をはじめ、科目の設定にあたり地域産業、地域の人材を生かした授業展開ができること。</p>

## 2 学習目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
- (2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝えあう力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

### 3 指導の重点

進学・就職等希望進路が多岐にわたっていることから、

- ① 基礎的な言語事項の習得を重視し、語彙力の向上と、知識を活用する力を高めることを目指します。
- ② 多様な文章に触れることで、視野を広げ、考え方を豊かにし、読解力や記述力の習得を目指します。
- ③ 論理的な文章を読むことで読解力を養い、順序立てて意見を伝え合ったり、客観的な視点から意見を述べたりすることのできる表現力の習得を目指します。
- ④ 論理的思考力を養い、他教科と関連づけながら学問を深化させることを目指します。
- ⑤ 言語活動を通して、相手に自分の意見を伝えたり相手の意見を尊重したりすることのできる態度を養い、実社会において言葉を使って主体的かつ積極的に他者とコミュニケーションを図ることのできる態度を育てます。

### 4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
言葉の働きを理解し、語彙を豊かにしている。段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や豊かに創造したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、ことばが持つ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

### 5 評価方法

評価方法	各観点における評価方法は次の通りです。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	以上の観点を踏まえ ・小テストの分析、 ・定期考査の分析 ・レポートやワークシート、意見文、提出物などの内容の確認	以上の観点を踏まえ、 ・定期考査の分析 ・プレゼンテーションや発表、討論への取組の観察 ・レポートやワークシート、意見文、提出物などの内容の確認	以上の観点を踏まえ、 ・プレゼンテーションや発表、討論への取組の観察 ・レポートやワークシート、意見文、提出物などの内容の確認
	などから、総合的に評価します。	などから、総合的に評価します。	などから、総合的に評価します。
内容のまとまりごとに、各観点「A:十分満足できる」、「B:おおむね満足できる」、「C:努力を要する」で評価します。内容のまとまりごとの評価基準は授業で説明します。			

### 6 指導計画

月	単元名	授業時数と領域	教材名	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	古文の基礎的な知識を身に付ける	3 「A書くこと」	古文を読むために1	歴史的仮名遣い、古語辞典の引き方、品詞の種類について学ぶ。	3	行動の観察 記述の確認
5	古典の文章に慣れ、話の面白さや人間描写の巧みさを知る	4 「B読むこと」	「児のそら寝」	・現代仮名遣いで音読する。 ・古語辞典の使い方を学ぶ。 ・品詞について学ぶ。	4	行動の観察 記述の確認
5	第一回定期考査				1	

5	漢文の基礎的な知識を身に付ける	3 「B読むこと」	漢文を読むために1, 2	・漢文を訓読するための基礎知識として、返り点の種類と使い方を習得する。	3	行動の観察 記述の確認 行動の確認	
5 6		2 「A書くこと」	訓読に親しむ(一) (二)	・身近な故事成語、慣用句の意味を理解し日常の文章の中で使えるように、例文を作成する。お互いに例文を発表し合い、適切な使用例について学ぶ。	2	行動の観察 記述の確認 行動の確認	
6		3 「B読むこと」	「五十歩百歩」	・漢文を繰り返し訓読し、慣れる。訓読テストを行う。 ・現在使われている言葉が漢文に由来することを知る。	3	行動の観察 記述の確認 行動の確認	
6	第二回定期考査					1	
7	小説の構成と展開を理解し、せりふや行動から人物像と心情を読み取る	8 「B読むこと」	「とんかつ」	・意味の分からない語句を国語辞典で調べ、語彙を豊かにする。 ・本文の表現から、登場人物の心理を読み取る。 ・本文の表現がどのような効果を生んでいるかを学ぶ。	8	行動の観察 記述の確認 行動の確認	
8 9	話の中で和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解する	8 「B読むこと」	伊勢物語「東下り」	・現代仮名遣いで音読する。 ・本文中の語の、品詞が区別できるようにする。 ・本文中で意味の分からない語句を古語辞典で引けるようにする。 ・和歌の修辞法について学ぶ。	8	行動の観察 記述の確認	
9	第三回定期考査					1	
10	再読文字について理解する	3 「A書くこと」	漢文を読むために3	・再読文字について訓読し、書き下し文に改める。現代語訳を確認する。	3	行動の観察 記述の確認 行動の確認	
11	漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを知る	10 「B読むこと」	「蛇足」 「鶏口牛後」	・漢文を繰り返し訓読し、慣れる。訓読テストを行う。 ・書き下し文に改める作業に慣れる。 ・重要語句、重要構文を現代語訳と照らし合わせて確認する。	10	行動の観察 記述の確認 行動の確認	
11	第四回定期考査					1	
12 1	小説の構成と展開を理解し、せりふや行動から人物像と心情を読み取る	12 「B読むこと」	「羅生門」	・意味の分からない語句を国語辞典で調べ、語彙を豊かにする。 ・本文の表現から、登場人物の心理を読み取る。 ・本文の表現がどのような効果を生んでいるかを学ぶ。	12	行動の観察 記述の確認 行動の確認	

1 2	思索的な随筆を読んで、作者の批評精神が提示する事柄を具体的に読み解く。	6 「B読むこと」	徒然草 「仁和寺にある法師」 「高名の木登り」	・現代仮名遣いで音読する。 ・本文中の語の、品詞が区別できるようにする。 ・本文中で意味の分からない語句を古語辞典で引けるようにする。 ・グループごとに現代語訳を作成し、発表し、お互いに批評し合う。	6	行動の観察 記述の確認 行動の確認	
2	表現や技法に留意して漢詩を鑑賞する	4 「B読むこと」	漢詩のきまり 唐詩の世界	・漢詩の決まり(詩形、押韻など)について理解する。 ・作者の思いがどのように表現されているかを読み取る。	4	行動の観察 記述の確認 行動の確認	
2		4 「A書くこと」		・学んだ監視の決まりを生かしつつ、創作漢詩に挑戦する。	4	行動の観察 記述の確認 行動の確認	
2	第五回定期考査					1	

計70時間(50分授業)

※領域ごとの授業時数合計

A「書くこと」 12時間	B「読むこと」 58時間
-----------------	-----------------

7 課題・提出物等

- ・単元ごとに、まとめプリントを記入し、提出すること。
- ・授業で使用したプリント、ワークシートを、こちらの指示した場合は提出すること。
- ・授業中に作成した作品等を提出すること。
- ・長期休業中の課題(国語科共通課題)を提出すること。

8 担当者より

古文、漢文を中学校より詳しく学びますので、少し難しいと感じることもあるかもしれませんが、基礎的なことをしっかりと身に付けましょう。(担当者) 文学的な作品から読み取れる作者の思いや時代背景を、楽しく学んでいきましょう。(担当者)